

ダムニュース

[法 人 名] 一般財団法人ダム技術センター

[郵 便 番 号] 〒110-0008

[住 所]東京都台東区池之端2-9-7池之端日殖ビル2F

[電 話] 03-5815-4161

[F A X] 03-5815-4162

[webサイト] http://www.jdec.or.jp/

[電子 メール] damnews@jdec.or.jp



意見交換会の様子

この号の内容

- 1 津軽ダム貯水池内集落の 現地回想と感謝の集い
- 2 Dam news 投稿記事募集
- 3 図書販売



▲集落跡地(砂子瀬地区)を懐かしむ 元住民の畠山さんと工藤さん



▲自宅跡地に立つ元住民の三上さん



▲マスコミからも多くの注目を浴びました



▲意見交換会の様子



▲関和典西目屋村長にもご出席いただ きました



▲当時の様子を資料で説明する元住民の島山さん。

GOOD DESIGN AWARD 2017年度受賞

津軽ダム貯水池内集落の現地回想と感謝の集い

~貯水池内の集落跡地訪問を実施~

令和元年8月20日(火)、津軽ダムの立地村である西目屋村の協力の下、ダム建設事業で移転していただいた元住民の代表者5名を招き 『津軽ダム貯水池内集落の現地回想と感謝の集い』を開催しました。

この集いは、少雨の影響で水位が低下し貯水池内にある集落跡地が姿を見せたことから企画され、津軽ダム建設によって恩恵にあずかるダム下流地区利水関係者等の生の声を紹介して元住民に感謝を伝えることを目的に開催しました。当日は、当時の生業の様子や生活の知恵、地区の伝統行事などを回想していただくとともに、集落跡地を訪問し、参加した元住民の方々は感慨深げに当時を懐かしんでいました。

現地訪問後、関和典西目屋村長、元住民5名および当事務所職員で意見交換を行い、それぞれの思いが語られました。参加者の畠山勉さんは、ダム湖畔に位置し昭和54年に惜しまれながらも閉山した尾太鉱山の最盛期に勤務されていた当時を思い出し「走馬燈のように頭の中がぐるぐる巡って懐かしさでいっぱいになった。」と話しました。また、現在西目屋村の観光会長を務める工藤茂樹さんは、「17,8年ぶりにダム湖の中を歩いて、年をとって初めてこういう思いになるのかという気持ちになった。白神山地が世界自然遺産になる過程で、下流の方々から沢山の支援を受けた。ダムが完成して、結果的に下流の方々が恩恵を受けたことにより恩返しが出来て良かった。」と語っていました。

当事務所の長内所長は、「これからも色々な機会を見つけて、この地を去られた方に対して"昔の様子を訪ねてみませんか?"ということをやっていくべきだと感じた。砂子瀬・川原平という地域はダム事業によって水没はしたが、皆様の心の中の思い出は決して沈まないとつくづく感じた。出来るだけ早い時期に、またこのような機会を設けたい。」と述べました。

(東北地方整備局 岩木川ダム統合管理事務所)

旧砂子瀬•川原平地区





Dam news 投稿記事募集

『ダムニュース』編集事務局では、下記のようなあらゆる情報・話題を広く募集しております。

内容等につきましては特に問いませんので、下記を参照の上、積極的にご投稿くださいますようお願い申し上げます。

- 1. イベントの開催通知・報告(水の週間、サマーカーニバル、花火大会、コンサート等)
- 2. 小学生等によるダム見学会についての報告(絵・感想文等)
- 3. ダム所在地等における伝統的な行事の紹介(祭り等)
- 4. ダム事業に関するPR 活動の紹介(パンフレット、ポスター等)
- 5. ダム周辺の自然紹介
- 6. ダム周辺の観光レクリエーション活動の紹介(スポーツ大会等)
- 7. 研究会・講演会・シンポジウムの開催(通知・報告)
- 8. 水害•地震等報告
- 9. ダム資料館・交流館等の紹介

なお、ご不明な点及び執筆にあたっての要領等につきましては、下記担当までご連絡く ださい。

※ダムニュースの配信先変更や配信停止などのご希望がありましたら、 ダムニュース編集事務局までご連絡をお願い致します。

[法人名] 一般財団法人 ダム技術センター『ダムニュース』 編集事務局

[郵便番号] 〒110-0008

「住所」東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F

「担当者」企画部 ダムニュース担当

「電話」03-5815-4161

[FAX] 03-5815-4162

[電子メール] damnews@jdec.or.jp

図 書 販 売

- 1. ダム技術
 - ・月刊誌 A4 判 12 部/年 年度契約(定期購読申込) 平成31年4 月号(No. 391)~9月号(No. 396) 1,260円(税別・送料込) 10月号(No. 397)~令和2年3月号(No. 402) 1,273円(" ")
- 2. 多目的ダムの建設 平成17年版(全7巻)・平成17 年 6 月発行 A4 判 88,200 円(税込・送料別)
- 3. RCD工法技術の進歩 ・平成17 年 12 月発行 A4 判 4,500 円 (税込・送料別)
- 4. ダムの安全管理 ・平成18 年 5 月発行 B5 判 2,000 円 (税込・送料別)
- 5. 台形CSG ダム施工・品質管理技術資料 ・平成19 年 9 月発行 A4 判 2,000 円 (税込・送料別)
- 6. 地質現象とダム ・平成20 年 6 月発行 A4 判 7,000 円 (税込・送料別)
- 7. 改訂3版 コンクリートダムの細部技術 ・平成22 年 8 月発行 A5 判 6,000 円 (税込・送料別)
- 8. ダム工事積算の解説 平成23 年版 ・平成23 年 5 月発行 A4 判 1,900 円 (税込・送料別)
- 9. 改訂版 巡航RCD工法施工技術資料 ・平成24 年 2 月発行 A4 判 2,000 円 (税込・送料別)
- 10. 台形CSG ダム設計・施工・品質管理技術資料 ・平成24 年 6 月発行 A4 判 3,000 円(税込・送料別)
- 11. ダム基礎における立体的岩盤透水性分布の把握手法 ・平成25年 5 月発行 A4 判 5,000 円 (税込・送料別)
- 12. ダム技術Q&A-総集編-改訂版 I ・平成27年3月発行 A4判 3,000円(税別・送料別)
- 13. ダムの地質調査—ボーリング・調査坑・トレンチ— ・平成27年3月発行 A4判 6,000円(税込・送料別)
- 14. ダム工事積算の解説 (平成28年度版) ・平成28年5月発行 A4判 2,500円 (税込・送料別)

書店では販売をしておりません。

お申込みは、ダム技術センターへ、FAXまたはE-mailをご利用下さい。 申込用紙の形式は定めておりませんが、参考形式が必要な方は、当センターホームページにて、出版物の項目よりPDF形式でダウンロードする事が可能となっております。

[法人名] 一般財団法人 ダム技術センター 図書販売

[郵便番号] 〒110-0008

「住所」東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F

[担当者] 図書販売担当

[電話] 03-5815-4161

[FAX] 03-5815-4162

[電子メール] books@jdec.or.jp

図書注文書

一般財団法人ダム技術センター図書販売担当宛

FAX (03-5815-4162)

下記のとおり注文します。

No	書籍名	部数			
1					
2					
3					

*公/私どちらかに○をお付け下さい。 公→宛名(会社名) 私→宛名(申込者名)となります。		公・(宛名(会	(社名))	私・(宛名	(申込者名))
申込者 (ご氏名)	ふりがな				
会社名					
事務所名・ 部署名					
所在地	(〒 -)				
TEL		FAX			
E-mail					
通信欄					

- ◆ご注文の商品は、3日~10日程度でお手元に届きます。
- ◆請求書、納品書、見積書は、商品とは別途郵送にてお届けいたします。(到着日は、商品と1 日程度誤差あり)
- ◆代金お支払いについて、郵便振替時の手数料は当センターが負担いたします。なお、銀行振込でお支払いされる場合には、お手数ですがお振込日・お取扱銀行・請求書番号(請求書右上)・金額を必ず書面(FAX もしくは通知状)にてご通知下さい。
- ◆銀行振込の手数料は、お客様のご負担となります。ご通知がない場合、代金が振り込まれても未払い扱いとなり、 後日再請求する可能性があります。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。
- ◆特定の様式による請求書等をご希望の際は、注文書、指定請求用紙などを同封の上、郵便もしくはFAX、E-mai1等にて上記の問い合わせ先にお申し込み下さい。なお、郵便によるご注文の場合、商品到着までに通常より日数がかかりますのでご了承下さい。

[法人名] 一般財団法人 ダム技術センター 図書販売

「郵便番号」〒110-0008

[住所] 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F

[**担当者**] 図書販売担当

「電話」03-5815-4161

[FAX] 03-5815-4162

[電子メール] books@jdec.or.jp